

会議要録

会議名	旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会（第2回）		
日時	令和3年1月15日（金）～2月1日（月）		
場所	個別意見聴取（リモート、対面、書面）		
出席者氏名	参加者	明星大学 ◎ 西浦 定継	八王子市商店会連合会 深沢 靖彦
	◎座長	工学院大学 ○ 野澤 康	多摩信用金庫 川口 幸子
氏名	○副座長	拓殖大学 工藤 芳彰	東日本旅客鉄道株式会社 筑井 裕之
	事務局	八王子商工会議所 宮瀬 睦夫	京王電鉄株式会社 小野 正浩
議題	議題	拠点整備部	市街地整備課課長補佐兼主査 逸見 洋平
		事業推進担当課長 大山 崇	市街地整備課主査 丹澤 智行
		1 旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会(第1回)会議要録等の確認について（共有）	
		2 旭町・明神町地区周辺まちづくり構想（改定版）の構成（意見交換）	
		3 イノベーション創出まちづくりのイメージ（意見交換）	
	4 まちづくりのコンセプトと目標について（意見交換）		
	5 まちづくり構想_まちづくりの方針について（意見交換）		
公開・非公開の別	—		
非公開理由	—		
傍聴人の数	—		
配付資料名	資料 1-1_旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会（第1回）会議要録（案） 資料 1-2_旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会（第1回）の主な意見（案） 資料 1-3_中心市街地のまちづくり・基盤整備等について 資料 2_旭町・明神町地区周辺まちづくり構想（改定版）の構成 資料 3_イノベーション創出まちづくりのイメージ 資料 4_まちづくりのコンセプトと目標 資料 5_まちづくり構想_まちづくりの方針（土地利用・都市基盤整備）		

■旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会(第1回)会議要録等の確認について（共有）（資料 1-1～1-3）

※資料 1-1 及び 1-2 について、各参加者の確認ののち、一部修正のうえ確定致しました。

■旭町・明神町地区周辺まちづくり構想（改定版）の構成（意見交換）（資料 2）

【明星大学 西浦定継】

- ・ 第3回懇談会に向けて、目標とまちづくりの方針がリンクしているか確認できる整理表を作成し、それに基づき懇談会で議論できたほうが良いと考える。

【拓殖大学 工藤芳彰】

- ・ 「まちづくりのコンセプトと目標」の表現が未だ曖昧のため、例えば、現状を踏まえて以下のような案はどうか。
「賑わい、憩い、コミュニケーションを共創するまち」
ア、賑わいの目標：ヒト・モノ・コトの出会いを誘発する
イ、憩いの目標：心地よい集いを誘発する
ウ、コミュニケーション（交流）の目標：多様なミーティング（会合）を誘発する
エ、共創の目標（全体的な目標、必要であれば）：新たなチャレンジを誘発する

【八王子商工会議所 宮瀬睦夫】

- ・ 周辺の具体的な交通計画の記載が必要である。
- ・ 北口駅前広場再開発は喫緊の課題であると認識すべきだと思う。
- ・ 産業交流センターへの資材搬入等の大型車アクセスの考慮が必要である。
- ・ 産業交流センターに直結する地域（旭町側）の具体案の提案も必要だと思う。

【京王電鉄株式会社 小野正浩】

- ・ 大きな方針や全体として付け加えるところはないが、具体的なところや実際に進めていくためのステップがどうなるか気になる。

■イノベーション創出まちづくりのイメージ（意見交換）（資料3）

【工学院大学 野澤康】

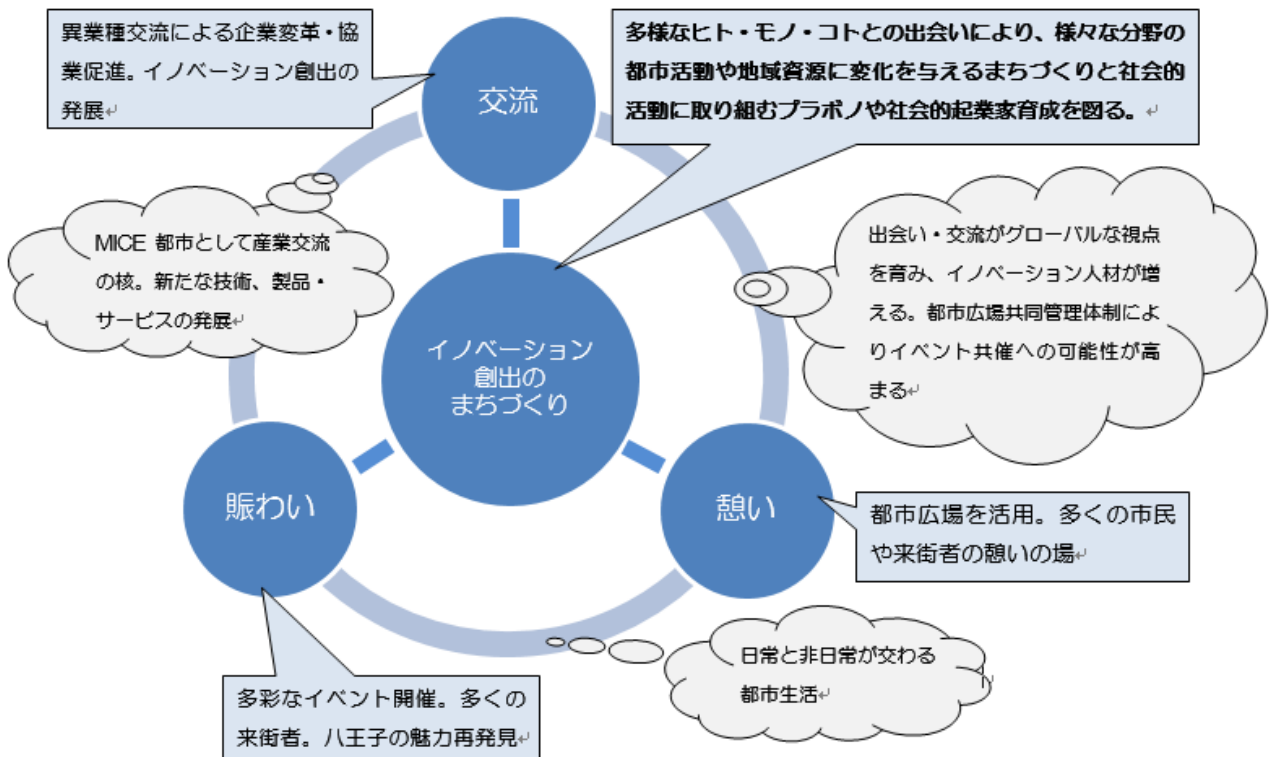
- ・ 「イノベーション」は狭義の技術革新以外では、一般社会でも幅広い意味合いで使用されている言葉のため、市民に伝わるよう工夫が必要だと考える。
- ・ P.1 ⑦憩いの円にのみ入っている部分について、冒頭に「広場で休憩中に」とあるが、③に入る内容ではないかと思う。⑦には、真の「憩い」となるイメージを書いたほうがよいのではないか。

【拓殖大学 工藤芳彰】

- ・ 議題2にもとづき、文言を再考して頂けるとよいかと思う。
- ・ 最終的に八王子版のイメージイラストがあるとよいのではないか。

【八王子商工会議所 宮瀬睦夫】

- ・ 表示されている図と文言が見づらいので一考を要する。特に④は、交流とも深く関係するのに外されて表示されている。表示方法を提案するため、検討して頂きたい。



【多摩信用金庫 川口幸子】

- ・ 総括的イメージが漠然としているように感じる。東京都が戦略として示している「多様な主体の有機的な連携により、都内産業の生産性と付加価値を高め、新たなビジネスやイノベーションを創出する」もふまえ、「八王子市が生み出す新しい価値とは何か」「八王子市に期待されるイノベーションとは何か」など、イノベーションの定義が明確でないと感じる。
- ・ 八王子で集めることができる「ヒト＝主体」「モノ＝地域資源」「カネ」「情報」をもっと精査したうえで整理すべきかと思う。
- ・ ①～⑦が実現できると本当に付加価値が創出されるのか、疑問を感じる。

【東日本旅客鉄道株式会社 筑井裕之】

- ・ 資料4のコンセプト説明文と、資料3 P.1の①～⑦とのつながりがイメージし辛いように思う。

【京王電鉄株式会社 小野正浩】

- ・ イメージ、コンセプトとしては良いと考える。八王子市ならではの伸ばしていきたい、もしくは弱みを補いたい部分があるか伺いたい。
→ 【市街地整備課】
一例として、八王子市では、大きなイベントとして八王子まつりがあり、来街者と市民との出会いや交流が強みとして考えられるように思う。
- ・ そのような最新のものだけではなく、交流・促進・小さな地域間の交流も大切である。
- ・ 八王子市外部の要素や組み合わせによって新たな価値などが生まれてくることを期待して、市街からの来街者(遊びに来る人、仕事に来る人)に対するアプローチも掲げていくと良いと感じる。

■まちづくりのコンセプトと目標について（意見交換）（資料4）

【拓殖大学 工藤芳彰】

- ・ コンセプトについて、イノベーションの視点が加わるので、にぎわい・交流・憩いを創り出すイノベーションが示されていると良いのではないかと。小さなことでも良いので、イノベーションが必要であることが伝わるのが重要だろう。
- ・ 目標についても同様であり、イノベーションを単体で表現するのではなく、にぎわい・交流・憩いを具体化した目標3つ全ての背景にイノベーションを位置付けておくことが重要ではないか。
- ・ 人口減少してもにぎわい・交流は増えていく姿を目指して、新しいことにチャレンジしたり、新しいこと・新しいことへのチャレンジを受け容れる・認めるまちであること、そこに価値がある・価値を認めるというまちを目指すことが重要だと思う。
- ・ 詳しい文言については、議題2の意見にもとづき、再考して頂けるとよいかと思う。

【八王子商工会議所 宮瀬睦夫】

- ・ 議題3で述べた意見の図にあるように、コンセプトは「イノベーション創出のまちづくり」とし、目標は、「交流」、「賑わい」、「憩い」とする方が良いように感じる。

【八王子市商店会連合会 深沢靖彦】

- ・ 当地区の広場という意味ではなく、八王子市全体の玄関口としての広場として、当地区を捉えるべきではないか。
→【市街地整備課】
市も同じ趣旨であるため、表現を検討する。

【多摩信用金庫 川口幸子】

- ・ 解釈が誤っていたら申し訳ないが、賑わいと憩いによって交流が生まれ → それが新しい価値を生み出すという意味であれば、「賑わい・憩いを中心とした交流から新しい価値を生み出すまち」ではないか。
- ・ 「多様な心地よさ」は漠然としていて具体的にイメージしづらく、後刻、成果の評価も難しいと感じる。

【東日本旅客鉄道株式会社 筑井裕之】

- ・ コンセプト説明文について、「立地特性・優位性」とは具体的に何を指すのか。また、これを「踏まえ」とあるが、文中のどこに繋がるのか。
→【市街地整備課】
「立地特性・優位性」は、2駅間に立地していることと、それによる人通りの多さを指している。また、「踏まえ」は、エリア全体と駅前広場と捉えることへ繋がっている。
- ・ エリア全体とはどこを指すのか。また、これを「一体の駅前広場と捉え」とあるが、文中のどこに繋がるのか。そもそも前段の文章を削ると、意味は通じなくなるのか。
→【市街地整備課】
エリア全体は、構想対象地区全体である。「一体の駅前広場と捉え」は、後段全体を指している。また、前段の文章は後段の文書の理由を捕捉しており、目指す方向性としては後段のみでも意味は通

じると思われるため、表現を検討する。

■まちづくり構想_まちづくりの方針について（意見交換）（資料5）

【明星大学 西浦定継】

- ・ 今後の検討のポイントとして、目標と方針がリンクしているか、整合しているかが考えられる。目標やイメージを今回の資料の方針で実現できるか否かである。リンクしないようなら、目標が過大だったり、方針が不足していたりするため、再検討・修正が必要だと感じる。そのための整理表を作成してはどうか。

【拓殖大学 工藤芳彰】

- ・ 広場や通りが、産業交流センターに隣接して設けられていることに大きな意味があるのではないか。広場は、そこでのアクティビティが街から見えることが、屋内空間である産業交流センターとは大きく異なる。産業交流センターは目的を持って、そこを利用する・した人のみの交流にとどまってしまう。街から見える場所でのアクティビティが街の雰囲気をつくっていく点で、広場と通りは非常に重要である。
- ・ 広場でいつも新しいことが起きている → たまたま通りがかった人も観る → まちの雰囲気がつくられる、これが循環していくことが重要で、新しいことを受け容れるハード・ソフトが重要である。そこでのイノベーションや新しさは、全く新しいもののみを指すのではなく、従来からのイベントや伝統的な要素に少しでも新しさが加われば十分であり、イノベーションと呼んで良いと思う。
- ・ 構想の進捗管理や改定時の効果検証の意味で、指標を設定することを検討すべきだと感じる。指標を設定する場合、低コストで継続して計測できる指標が望ましい。

【八王子商工会議所 宮瀬睦夫】

- ・ 土地利用について、北口駅前広場は独立して検討すべき事項であると考えます。
- ・ 都市基盤整備について、「生活利便複合ゾーン」の具体的方針が欲しいと思う。特に、個人所有部分が多いため、「生活利便」とはどのような機能を指すのかを示さないと、所有者や居住者から理解を得られないのではないかと感じる。

【八王子市商店会連合会 深沢靖彦】

- ・ 土地利用について、駅前商業業務ゾーンと生活利便複合ゾーンの色分けが、現行のまちづくり構想と変更している。ゾーンが変更していることを資料に記載した上で、各参加者から意見聴取すべき。
- ・ 都市基盤整備について、歩行者や車両等の導線に関して駅前空間の形成の【基本方針】に記載してほしい。

【東日本旅客鉄道株式会社 筑井裕之】

- ・ 「駅前広場としての役割」とは、どのようなものを考えているのか。議題4・5を通じてだが、まち全体を「駅前広場」と捉えるとは言え、例えば、当地区内にバスターミナル等の交通結節機能を整備する趣旨ではないと理解している。「駅前広場」には、人により様々なイメージがあるため、用語の使い方により誤解を招く懸念がある。

→【市街地整備課】

ご理解のとおり、当地区内に交通結節機能を配置する考えで記載したのではなく、まちの顔としての駅前空間としての意味で使用している。表現を検討する。

【京王電鉄株式会社 小野正浩】

- ・ 土地利用について、駅前商業業務ゾーンの整備方針の最後の項目において、「都市居住機能の導入」とあるが、具体的にどういうことか。複合的なマンション開発などか。

→【市街地整備課】

イノベーション創出まちづくりに必要な機能について、一例として、クリエイティブな人材の家族との居住機能や、教育機能、交流・滞在空間やゆとりあるパブリックスペースに対応した機能をイメージしている。

- ・ 都市基盤整備について、道路において、歩行者空間を広げていくという考え方で良いか。長い目で見て、空地や良い歩行空間が整備されるとよいと感じる。

→【市街地整備課】

無電柱化や開発に伴う歩道状空地などにより、歩行空間を確保していくことを考えている。

■その他

【明星大学 西浦定継】

- ・ 指標設定は有効だと思うが、構想に対応するものとしては、定性指標だけ良いかもしれない。

→【市街地整備課】

データ収集の容易さを考慮し、既存計画等で設定している指標の活用することや、成果指標とともに活動指標を活用する等を含めて検討する。

- ・ コロナを踏まえた意見も出るだろうが、今後は、基本的にコロナ前に戻ると思う。オンライン化を試行したがやっぱり対面がいい、つまり、人が集まる価値が見つかるはずだと感じる。

【八王子市商店会連合会 深沢靖彦】

- ・ 平成 22 年以降、地元町会や商店会等から、京王八王子駅前への交番設置が市及び警察へ要望されている。令和 4 年の産業交流センター竣工により、より多くの人が集まり、にぎわいが創出されることに伴って、一層の防犯対策が必要だと感じる。交番設置についても検討するべきだと思う。

→【市街地整備課】

市でも機会を捉えて要望しており、直近では令和 2 年 10 月にしたところである。

- ・ 令和 2 年 10 月 26 日第 1 回懇談会資料 4-2 の八王子市の計画を中心に、会議を進めてはどうか。既定計画に基づいて、これから先の議論をすべきであり、関連計画まで立ち戻ることのないように進めるべきだと思う。

→【市街地整備課】

そのように進めていきたい。